

科目区分	専門教育科目	科目名	教育実習（事前・事後指導1単位含む）（幼）	科目コード	22Y507	担当者	本村 弥寿子、織田 芳人、福井 昭史、中村 浩美、荒木 正平、船勢 肇、野田 章子、山中 慶子				
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	通年	単位数	5	担当形態	複数				
		授業形態	実習								
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等					卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
大学で修得した内容をふまえ、幼稚園の役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、教諭の業務内容や職業倫理、保護者支援について総合的に学ぶ。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	幼稚園の社会的役割や具体的活動などを理解する。										
2.	幼稚園の概要や一日の流れを把握する。										
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める。										
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する。					○	◎	◎	◎	◎	◎
5.	保育の方法や技術を実践しながら修得する。										
授業方法						成績評価の方法と割合					
学外実習（幼稚園へ、2年次6月に2週間、10月に2週間、計4週間）を行う。実際に幼稚園で保育計画を立案し、それに基づいた保育を実践する。幼稚園もしくは認定こども園にて実際に子どもと関わり、担当教員の指導を受けながら保育の構想・実践を行うなど、現場で実際に保育に携わる。						受講態度（50%） 実習先の評価（50%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
個別オリエンテーションで、実習の課題を個別に添削する。また、事後指導において、実習課題の達成具合について担当教員と話し合う機会を設け、実習評価を行う。						60分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
	<p>○学外実習へ向けての事前学習 1年次 4月 実習総合指導 5～2月 附属幼稚園での観察・体験学習 5月 実習幼稚園の依頼と内諾</p> <p>○第1回教育実習 2年次 5月 事前指導、オリエンテーション、幼稚園長講演会 6月 第1回幼稚園実習（2週間） 実習記録・実習報告書の提出、事後指導</p> <p>○第2回教育実習 2年次 9月 事前指導 10月 第2回幼稚園実習（2週間） 実習記録・実習報告書の提出、事後指導</p>					<p>・希望実習園調査 ・体験学習課題記入</p> <p>・実習園オリエンテーション報告書の作成 ・実習課題記入 ・園長講演会報告書の記入 ・実習報告書の記入</p> <p>・実習課題記入</p> <p>・実習報告書の記入</p>					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	教育・保育実習の手引き 学生・養成校・実習園がともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド [著者]大豆生田啓友・澁谷行成・鈴木美枝子・田澤里喜編著 [出版社]中央法規					受講生へのメッセージ		幼稚園での実習は、あなたがめざしている職業観を実際に確認する機会でもあります。子どもたちや現場の先生方から多くのことを学んでください。			
参考書等	なし										